

命と健康を守る医療体制の確保プロジェクト

主担当部局：健康福祉部医療対策局

解決すべき課題

- 県内の医師数は、全国平均を大きく下回り、地域間、診療科目間および病院・診療所間の偏在が拡大しています。また、減少傾向にある若い世代の医師の確保・定着促進が急務となっています。
- 看護職員についても、依然として不足しており、確保・離職防止対策の充実のほか、高度化・多様化する医療現場に的確に対応できる看護職員の養成が重要な課題となっています。
- 地域によっては救急医療をはじめとする医療提供体制の維持が困難となる状況が生じており、医療資源を有効に活用するための対策が必要です。
- 県民の死亡原因の第1位はがんであることから、総合的ながん対策を進める中で、特に全国と比較して低位で推移しているがん検診の受診率の向上に向けた取組を強化するとともに、肝臓がん発症の主な原因であるウイルス性肝炎の早期治療を推進する必要があります。

県民の皆さんに成果をお届けします（プロジェクトの目標）

- 医師の県内医療機関への定着と医師・看護師等の不足・偏在の解消に向けた取組が進んでいます。
- 県民一人ひとりの受診行動の見直しや、医療機関の機能分担・機能連携が進むとともに、救急医療体制の整備が進んでいます。
- がん検診受診率が向上し、早期発見が進むとともに、新たにウイルス性肝炎の治療を受ける人が増加し、がんによる死亡率が減少しています。

プロジェクトの数値目標

目標項目	H23(現状)	H24	H27
二次救急病院における勤務医師数	1,305人 (22年度)	1,322人 (23年度)	1,373人 (26年度)
がん検診受診率(乳がん、子宮頸がん、大腸がん)	乳がん 14.0% 子宮頸がん 19.0% 大腸がん 18.2% (21年度)	乳がん 22.4% 子宮頸がん 25.4% 大腸がん 24.8% (23年度)	乳がん 35.0% 子宮頸がん 35.0% 大腸がん 35.0% (26年度)

[目標項目の説明]

- ・ 県内の二次救急病院（33 病院）における勤務医師数
- ・ 乳がん、子宮頸がんおよび大腸がんに係るがん検診受診率

プロジェクトの構成（実践取組と主な事業）

実践取組 1

「医師や看護師等の不足・偏在」 を解消するために

医師や看護師等の不足・偏在に対応するため、若手医師のキャリア形成支援と医師不足病院の医師確保支援を一体的に行う仕組みの構築などの対策に取り組みます。

（1）医療従事者の確保

【主な事業】

（一部新）医師確保対策事業（健康福祉部医療対策局）

【基本事業名：12101 医療分野の人材確保】

（第4款 衛生費 第4項 医薬費 1 医務費）

当初予算額：(23) 7 4 8 , 7 4 5 千円 (24) 8 8 3 , 2 7 1 千円

事業概要：医師修学資金貸与制度の運用、臨床研修の魅力向上、勤務医負担軽減、指導医の育成、女性医師等への子育て・復帰支援、全国からの医師招へいなどの取組を通じて、救急医療を中心的に担う若手医師等の県内定着を進め、医師不足・偏在の解消を図ります。（指導医等育成支援5施設、子育て医師等支援5施設 等）

（新）医師等キャリア形成支援事業（健康福祉部医療対策局）

【基本事業名：12101 医療分野の人材確保】

（第4款 衛生費 第4項 医薬費 1 医務費）

当初予算額：(23) - 千円 (24) 7 4 , 2 8 1 千円

事業概要：県内の医師不足の状況等を把握・分析し、医師のキャリア形成支援と一体的に医師不足病院の医師確保支援等を行う仕組みづくりおよびその運用等を行う「三重県地域医療支援センター（仮称）」を運営します。また、へき地等の地域医療の担い手を育成するため、研修医、医学生等を対象に「三重県地域医療研修センター」において引き続き実践的・特徴的な研修等を実施するとともに、研修を受け入れる医療機関の拡充を図ります。（地域医療支援センターの運営、地域医療研修センター研修受入医療機関の拡充3施設 等）

（一部新）看護職員確保対策事業（健康福祉部医療対策局）

【基本事業名：12101 医療分野の人材確保】

（第4款 衛生費 第4項 医薬費 2 医療従事者確保対策費）

当初予算額：(23) 3 5 7 , 2 8 4 千円 (24) 2 2 4 , 3 0 0 千円

事業概要：修学資金の貸与等により看護職員の確保を図るとともに、新人看護職員の卒後研修体制の構築・支援、病院内保育所の設置・運営支援、復帰支援など、看護職員の定着促進および離職防止等に取り組みます。

また、高度化、多様化する医療現場のニーズをふまえ、がん看護、訪問看護などの専門領域における高い臨床能力を備えた看護職員の養成を支援します。（新人看護職員研修支援46施設、病院内保育所運営支援22か所、新設支援4か所 等）

実践取組 2

「地域の救急医療体制の課題」 を解決するために

医療資源を有効に活用するため、医療に関する情報を提供し、県民の皆さんの理解と協力を得ながら、受診行動の見直しや、医療機関の機能

分担・機能連携を進めるとともに、救急医療体制の充実を図ります。

- (1) 適切な受診行動等の普及啓発
- (2) 救急医療体制の充実

【主な事業】

(一部新) 救急医療体制再整備・医療情報提供充実事業
(健康福祉部医療対策局)

【基本事業名：12102 救急・へき地等の医療の確保】

(第4款 衛生費 第4項 医薬費 1 医務費)

当初予算額：(23) 4 6 0 , 2 0 2 千円 (24) 5 1 4 , 6 7 1 千円

事業概要：地域における救急医療体制の維持・確保を図るため、市町や関係機関と連携して、適正受診に向けた啓発活動に取り組むとともに、三重県救急医療情報システムに参加し、時間外の診療応需を行う初期救急医療機関への新たな支援、二次救急医療機関への支援やドクターヘリの運航等を行います。

また、急性期から在宅まで切れ目のない医療提供体制を構築する観点から、新たに小児在宅医療体制の整備等を支援します。

(一部新) 救急・へき地医療施設設備整備費補助金
(健康福祉部医療対策局)

【基本事業名：12102 救急・へき地等の医療の確保】

(第4款 衛生費 第4項 医薬費 1 医務費)

当初予算額：(23) 9 4 7 , 2 1 6 千円

(24) 1 , 1 4 7 , 8 0 7 千円

事業概要：二次・三次救急医療機関の機能強化を図るため、病院群輪番制病院等が行う施設整備や医療機器整備等の取組を支援します。(三重県地域医療再生計画に基づく補助金等の交付)

実践取組3

「がんに対する不安・悩み」 を解消するために

がんに対する不安・悩みを解消するため、予防・早期発見から治療・予後までのそれぞれの段階に応じた総合的ながん対策を推進します。

- (1) がん予防・早期発見の推進

【主な事業】

(一部新) がん予防・早期発見事業(健康福祉部医療対策局)

【基本事業名：12201 がん予防・早期発見の推進】

(第4款 衛生費 第1項 公衆衛生費 3 予防費)

当初予算額：(23) 2 6 , 9 5 2 千円 (24) 1 7 , 7 0 0 千円

事業概要：がん対策に対するこれまでの取組の評価を行い、新たながん対策戦略プランを策定します。また、がんの予防・早期発見のため、県民の皆さん、NPO、企業、医療機関、市町等と連携し、乳がん、子宮頸がんおよび大腸がんについて、重点的に検診受診率の向上を図ります。特に、市町のがん予防・早期発見のための新たな取組等について支援します。

また、肝臓がん予防のため、その発症の主な原因であるウイルス性肝炎について、検診の受診促進や医療機関への受診勧奨等を行うコーディネーターを養成します。(コーディネーター年間約300名養成予定)

- (2) がん治療・予後対策の推進

【主な事業】

(一部新) がん医療基盤整備事業(健康福祉部医療対策局)

【基本事業名：12202 がん治療・予後対策の推進】

(第4款 衛生費 第1項 公衆衛生費 3 予防費)

当初予算額：(23) 1 4 2 , 6 4 0 千円 (24) 1 8 4 , 0 2 8 千円

事業概要：医療機関の施設・設備の整備や人材等の充実に取り組むとともに、切れ目のない医療連携体制の整備・向上を図ります。

また、三重大学医学部附属病院に委託している地域がん登録の実施体制を充実するため、同病院に専任医師を配置するとともに、がん等の疫学調査を実施し、地域がん登録の情報等と併せて分析することにより、本県のがん対策に役立てます。

がん療養生活向上事業（健康福祉部医療対策局）

【基本事業名：12202 がん治療・予後対策の推進】

(第4款 衛生費 第1項 公衆衛生費 3 予防費)

当初予算額：(23) 1 7 , 7 3 2 千円 (24) 1 6 , 8 9 5 千円

事業概要：がんに係る療養生活を送っているがん患者およびその家族を支援するため、療養の質の向上に向けて在宅緩和ケアに係る人材育成を支援する取組を推進するとともに、がんに係る相談窓口を設置・運営します。